

シリーズ 景観 57

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

『みんなで残したい松江の景観400選集』から
景観審議会が特にお薦めする景観

紅葉の華蔵寺 華蔵寺の不動明王さま

No. 155 No. 154

「地藏堂から参道を歩くと、その途中に仁王門と草むした巨大な不動明王の石像が現れ、共に心に響く存在感がありました」「山頂にある華蔵寺は、大山、中海などが眺望できます。境内では、四季を通じて美しい景色を見ることができですが、特にもみじは色も枝ぶりもよくお薦めです」と推薦いただきました。

825年の開山と伝えられる華蔵寺は、標高453mの枕木山の山頂にあります。枕木山は松江城の鬼門（陰陽道おんみょうどうで何をすることも避けなければならぬとされる北東の方角）に当たるため、堀尾

吉晴公が松江城築城の際に、華蔵寺を祈願寺としました。参道途中にある高さ9mの石造の不動明王も、鎮護国家を祈念して慶応年間（1865年～1868年）に造立したものとされています。自然の中にひっそりと佇む不動明王の石像と華蔵寺からは、長い時を経た荘厳な空気が感じられます。

また、華蔵寺にある展望台から見渡す眺めは絶景で、松江市景観計画では保全すべき景観資源「展望地」として定められています。のどかな秋の日に、枕木山を訪れてみてはいかがでしょうか。

※地藏堂に車を停めてから、華蔵寺までは徒歩で15分ほどかかります。



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索